

# 戯曲を読み解く！ 2022

## オンライン講座です。

本講座は、オンライン会議サービス「Zoom」で実施します。  
遠方の方も、ぜひお気軽にお申し込みください♪

※オンラインでご参加いただくには、Zoom アプリケーションをインストールした、インターネット接続が可能なパソコンまたはスマートフォン、タブレット端末が必要です。  
※会場での実施はございませんので、あらかじめご了承ください。

### 日時

2022年  
10月19日(水)・20日(木)  
11月16日(水)・17日(木)  
12月21日(水)・22日(木)  
全日程とも 19:00～20:30

### 対象

高校生以上  
※原則として全日程参加できる方

### 参加料

一般 5,000円  
高校生～大学生 2,500円

### 募集人数

6名  
※応募者多数の場合は書類選考

### 申込締切

10月5日(水) 必着・受信

申込方法は裏面をご覧ください ▶▶▶

実際の作品をとりあげながら、戯曲を読み解くための知識を学ぶ、全6回の講座です。少人数でじっくり取り組むので、演劇経験者の方ももちろん、初めての方も大歓迎！「演劇を観るのは好きだけど、戯曲を読むのは苦手…」そんな方もぜひご参加ください。きっと、戯曲の楽しみ方が広がりますよ。

### 講座で扱う戯曲

三島由紀夫「班女」  
\*『近代能楽集』(新潮文庫刊)所収  
受講者には、事前に書籍をお送りいたします。

### 講師

劇作家・演出家  
立山ひろみ (たてやま・ひろみ)



1979年、宮崎県宮崎市佐土原町出身。劇作家、演出家。宮崎県立芸術劇場演劇ディレクター。パフォーマンス演劇ユニット「ニグリノード」主宰。劇団黒テントに所属し演出家デビュー。同劇団を退団後、自身のユニットを立ち上げ、言葉に偏らず、身体表現や音楽など舞台芸術の諸要素をセリフと等価値に扱い、表現の可能性を模索している。主な作品に、宮崎県立芸術劇場プロデュース「新 かぼちゃといもがら物語」#3『たのかんさあレンジャー』、#4『幻視～神の住む町』、#5『神舞の庭』、#6『火球』、日生劇場ファミリーフェスティバル 2019・2021 音楽劇『あらしのよるに』、デフ・パベットシアター・ひとみ『河の童—かわのわっぱ—』など。各地でワークショップなども行う。

今後実施する  
主催事業 Pick Up!  
～演劇・ダンス事業～

2023年3月1日(水)～5日(日)

「新 かぼちゃといもがら物語」#7 『神舞の庭』



©黒木朋子

宮崎を舞台に描く演劇創作シリーズ「新 かぼちゃといもがら物語」。第7弾は、2020年に上演し好評を得た『神舞の庭』を再演します。神楽を受け継ぐ、宮崎の山間に暮らす一家を描いた本作。どうぞお見逃しなく。



本講座の講師・立山ひろみ演劇ディレクターが、演出を務めます。

2022年10月29日(土)

こどもおとなも劇場#7 茂山千五郎家『狂言』



親子で楽しめる舞台芸術作品をお届けするシリーズ。第7弾は、茂山千五郎家の「お豆腐狂言」が登場！味わい深い笑いの世界を気軽に楽しみませんか？

\*10月30日(日)に門川町総合文化会館でも上演します。

2022年12月3日(土)・4日(日)

『夏の砂の上』

1999年読売文学賞戯曲・シナリオ賞を受賞した劇作家・松田正隆の代表作のひとつ『夏の砂の上』を、現代日本演劇界を代表する演出家・栗山民也の演出でお届けします。

作 / 松田正隆  
演出 / 栗山民也  
出演 / 田中圭、西田尚美、山田杏奈  
尾上寛之、松岡依都美、粕谷吉洋、深谷美歩、三村和敬

# 応募方法

<戯曲を読み解く!2022>

下の申込み欄に必要事項を記入のうえ、郵送またはFAXにて下の申込先までお送りください。宮崎県立芸術劇場のHP(QRコード)からもお申込みいただけます。

お問合せ・お申込み先

公益財団法人宮崎県立芸術劇場  
企画広報課「アートな学び舎」係  
〒880-8557 宮崎市船塚3丁目210番地  
TEL: 0985-28-3208 FAX: 0985-20-6670  
URL: <http://www.miyazaki-ac.jp>



(キリトリ)

## 「戯曲を読み解く!2022」申込書

※この用紙はコピーしてご利用いただけます。  
※ご応募いただいた個人情報は本事業にのみ使用します。

(ふりがな) お名前		性別 ※性自認を含む	年齢 歳
〒 ー 現住所		職業または学校名 ( 年)	
電話または携帯番号		Eメール ※必須	
保護者の承認 (高校生の場合)	申込を承認します。 保護者氏名	申込者との 続柄	
応募動機			